

Introduction

～ まちの人紹介 ～



↑山田さん夫妻 (はじめて生まれた子牛と)
(写真左：希衣子さん 右：宏幸さん)

新規就農 山田牧場 (豊丘)

やまだ ひろゆき
山田 宏幸さん・希衣子 さん

今回、取材に応じてくれたのは、10月から豊丘地区で新規就農された神奈川県出身の山田宏幸さん、希衣子さんご夫妻です。
酪農での新規就農は雄武町内では20数年ぶりとのこと。
前職で工場に勤務していた宏幸さんが転職を考えていたときに、動物好きな希衣子さんと一緒に働ける仕事をしたいという共通の思いから、興味があった酪農家になることを決意。その後、北海道に移住し、従業員として牧場で働きながら、酪農業について学んできました。
そして、新規就農を目指して土地や物件を探しているときに、雄武町内の酪農家が離農することを聞いて見学に行くと、見渡す限りに海が広がるオーケーションと地域の皆さんの人柄の良

さに惹かれて、雄武町で就農することを決められたそうです。
これからの目標について聞いてみると、宏幸さんは「今は牛舎での飼育をしています。将来的には放牧をして牛たちにとって健康的な運営をしたい」と、希衣子さんは「これから初産の牛たちの分娩が控えているので、生まれてくる子牛や今いる牛を大事に育てていきたい」と話し、牛への愛情と酪農に対する強い思いが感じられました。
「北オホーツク農協や町の助成、地域の皆さんの尽力があり、今の年齢になっても新規就農することができました。牧場を持ちたいけどできない若い人たちが雄武町に興味を持ち、就農する人が増えてくれたら嬉しいですね」と笑顔を見せてくれました。

雄武町民憲章 (町民の誓い)

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生き、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生き、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和 46 年 3 月 19 日制定

▼秋季めだか塾の取材に伺いました。生の秋鮭に物怖じせず鱗をとって魚を捌く姿は、普段料理のしない自分にとって、さすが漁師町の子もたちだと思いました。子どもたちが作った鮭のムニエルや石狩汁はとても美味しかったです。(松井)

◆編集後記

Editor's note

▼今年も 2023 年雄武町フォトコンテストの大賞作品を表紙として使用させていただきました。今年もどの作品も素晴らしいものばかりで、選考委員の人たちも決定に大変苦労したと思います。大賞以外の写真も観光協会のホームページで閲覧できますのでぜひご覧ください。(結城)